

第20回日本健康福祉政策学会学術大会 in 埼玉 ご案内

大会テーマ **いのちの種**を明日へつなぐ
ほっこりと共に育つ

大会長 増田 一世 (公益社団法人やどかりの里常務理事)
記念講演 内山 節 (哲学者)
特別講演 斎藤なを子 (社会福祉法人鴻沼福社会常務理事)
会場 大宮ソニックシティ 市民ホール・9階会議室

2016年 11月12日(土)～13日(日) 申し込み締め切りは10月31日(月)



主催：日本健康福祉政策学会 共催：公益社団法人やどかりの里

後援：埼玉県 さいたま市 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会 一般社団法人埼玉県セルフセンター協議会
きょうされん埼玉支部 埼玉県精神障害者社会福祉事業所運営協議会 埼玉県精神障害者家族会連合会
さいたま市精神障害者家族会連絡会 社会福祉法人埼玉いのちの電話 認定NPO法人さいたまNPOセンター
認定NPO法人ハズオン埼玉 一般社団法人コレカラ・サポート アートフルゆめまつり実行委員会

事務局：やどかりの里やどかり情報館

〒337-0026 さいたま市見沼区染谷 1177-4 Tel 048・680・1891～1892 Fax 048・680・1894
E-mail：kenkouhukushi@yadokarinosato.org
http://www.yadokarinosato.org/SEISAKU-G/etc/gakujututaikai/gakujututaikai_20.html

ご挨拶

第20回という節目の学術大会を埼玉で開催します。当学会は、研究者と実践者・住民の協働を大切に、住民と共に現場にある知恵を国や自治体の政策に反映しようと考えてきました。一方、私たちが暮らす社会は、経済至上主義がはびこり、競争中心の社会は、私たちの暮らしにさまざまな影響を及ぼしています。じわじわと社会保障が後退する中で、改めてどんな社会を創り合っていくのか、どんな地域にしたいのか、2日間を通して考えていきたいと思えます。

大会テーマにある「いのちの種」は、やどかりの里が新たに取り組み始めた自然栽培（無農薬・無肥料・無除草剤）の種どりの話から、収量を上げるための一代限りの「種」ではなく、次につながる「種」の大切さを考えようというメッセージが込められています。

そして、昨年の福幸志縁ふくしまセミナーからバトンを受け取り、福島を抱える困難を今を生きる1人1人の課題として考えたいと思えます。やどかりの里のメンバー（精神障害のある人）や家族がたどってきた道のり、精神障害を体験し、回復の道のりの中で気づいたことも、これからを考える大事な知恵となることと思えます。

記念講演には、内山節さんをお迎えします。1970年代から東京と群馬県上野村を往復しながら、日本の自然に根ざした日本独自の哲学を平易な言葉で紡ぎ出されています。いのちの種を未来につなぐために私たちは何を考え、行動していくのか、考える機会になればと願っています。

2016年9月 大会長 増田 一世

会場案内図



JR・東武野田線 大宮駅西口
歩行者デッキにて直結、徒歩約3分です

※ 大会開催地、「大宮駅」（さいたま市）周辺は宿泊施設が少ないため、宿泊される方は、浦和駅周辺、赤羽駅周辺もご検討下さい。

プログラム

11月12日(土)

- 9:00～9:30 受付
9:30～10:00 総会
10:00～10:10 開会式
10:10～10:30 基調報告 政策学会の20年から見えてきたこと 増田 一世 (やどかりの里)
福島からの学び やどかりの里の実践を踏まえて
10:30～11:30 リレートーク 福島・やどかりの里(障害),いのちを見つめて
福島からのメッセージ 渡部 育子 (ふくしま心のケアセンター)
やどかりの里からのメッセージ 堤 若菜 (やどかりの里)
いのちの種からのメッセージ 宗野 政美 (やどかりの里)
11:30～12:00 公開討論1 リレートークを受けて考えること
松田 正己 (東京家政学院大学) 岩隈 道洋 (杏林大学) 増田 一世 (やどかりの里)
12:00～13:00 昼休み (各委員会を開催します)
13:00～14:20 記念講演 私たちの生きる社会 改めて共同体的な関係を考える(仮)
内山 節 (哲学者)
14:30～15:20 壁新聞発表
15:30～17:00 ワークショップ・しゃべり場 (模擬市民会議)
17:30～ 懇親会 (パレスホテル大宮)

11月13日(日)

- 9:30～11:00 ワークショップ
11:15～12:00 特別講演 障害のある人と切り拓いてきたこと
斎藤なを子 (鴻沼福祉会常務理事)
12:00～13:00 昼休み (12:00～12:15 歌体操のデモンストレーションがあります)
13:00～14:50 公開討論2 いのちの種を明日へつなぐ
岩永 俊博 (健康なまちづくり支援ネットワーク) 加藤 康士 (やどかりの里・メンバー)
橋本由利子 (福島・NPO法人コーヒータム) 浅見 典子 (やどかりの里・職員)
塩飽 邦憲 (島根大学名誉教授)
進行: 反町 吉秀 (国立精神・神経医療研究センター自殺総合対策推進センター地域連携推進室)
大澤 美紀 (やどかりの里)
14:50～15:00 閉会式

エクスカーショングのご案内 11月11日(金) 先着20名まで

やどかりの里の歴史をたどりつつ“今”の活動を見ていただきます。やどかりの里は、精神障害のある人たちの回復する力を信じ、地域生活の環境を整えてきました。いのちや暮らしが豊かになる地域づくりをすすめ、新たに農と食でつながる活動が始まっています。大会テーマ「いのちの種を明日へつなぐ」を感じる時間にしたいと思います。ぜひご参加ください。

- JR大宮駅コンコースの豆の木 集合(13:30)(参加者には改めてご案内します)
車でやどかりの里の各所を見ていただきます。
- 「やどかりの里の歴史に触れる 今を知る」(サポートステーションやどかり)
やどかりの里の歴史と概要、精神障害者の地域生活支援
- 「見沼の地域を感じる」
見沼たんぼとビル群など地域の風景に触れていただきます。
- 「いのちの種を味わう」(やどかり情報館)
ティータイム。明石誠一さん(明石農園)から種のお話をさせていただきます。
- 大宮駅前 会場のソニックシティ前で解散(17:00頃予定)

ワークショップ

日時	テーマ	代表者	所属
12日(土)	W-1 難病になっても安心して暮らせる茨城をつくる - 難病相談支援センターと難病の当事者の協働 -	佐々木峯子	茨城県難病相談支援センター
	W-2 若者支援を考える - 災害からの中長期支援として -	伏見 香代	相馬広域こころのケアセンター なごみ
	W-3 介護保険と障害者福祉 - 「我が事 丸ごと」を社会保障と公衆衛生の歴史から考える -	増田 一世	公益社団法人やどかりの里
	特別企画 しゃべり場☆ 「わたしの街 こんな街にしたい！」	永瀬恵美子	公益社団法人やどかりの里
13日(日)	W-4 協働とは、参加とは - それらを測る物差しづくりの試み -	岩永 俊博	健康なまちづくり支援ネットワーク
	W-5 地域での子育て活動の継続・拡大にむけた協働を考える	野山 修	東京家政大学
	W-6 1人1人が主人公で生きられる社会の実現に向けて - やどかりの里の活動をささえる「とも育ち」の文化 -	鈴木 裕貴	公益社団法人やどかりの里

壁新聞 (発表の時間 11月12日(土) 14:30-15:20, 2日間掲示しています)

	演題	代表発表者	所属
A 誰もが暮らしやすい地域づくり	A-1 家族形態別にみる小学生5年生の日常の過ごし方 - 食育活動に焦点をあてて -	齋藤 美冴	日立市立坂本小学校
	A-2 養護教諭と連携した学校保健の実践 - 中学校1年生への喫煙防止教室を中心に -	葛原 誠人	綾川町国民健康保険陶病院
	A-3 都市近郊におけるコミュニティ形成の可能性を探る - 松戸市A町会の見守りボランティア継続要因の分析から -	谷口 起代	NPO 法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
	A-4 精神障害のある人が住み慣れた地域で暮らし続けるために - 変化するニーズに対応できる地域ケアシステムとは -	大澤 美紀	公益社団法人やどかりの里
	A-5 さいたま市の宝「市民会議」	渡邊 奏子	公益社団法人やどかりの里
B 生涯を通じた健康づくり	B-1 効率化の対向にある余裕が生み出す創造する力から得られる心の健康	道見 藤治	医療・福祉問題研究所
	B-2 静岡県におけるふじ33プログラムの効果検証	川田 典子	静岡県健康増進課
	B-3 A市における特定健診の課題	渋谷 彩夏	川口市保健センター
	B-4 高齢者の運転能力評価の試み	塩飽 邦憲	鳥根大学 医学部
	B-5 海外進出を目指す介護事業所の現状と課題	村田 道彦	東北文化学園大学
C 地域の中での孤立を防ぐ取り組み	C-1 高齢男性の孤立を考える - 災害からの中長期支援として -	伏見 香代	相馬広域こころのケアセンター なごみ
	C-2 地域特性にみるひきこもり支援の課題	石井 敦子	和歌山県立医科大学 保健看護学部
	C-3 個別支援活動強化への取組経過と今後の課題	渡部 英二	出雲市社会福祉協議会
	C-4 やどかりの里における看護と福祉の連携	玉手 佳苗	公益社団法人やどかりの里 サポートステーションやどかり
	C-5 精神障害者の地域生活支援 - 町の精神障害者デイケア事業を続けてきて -	塩原 直美	茨城県立医療大学
D 食を通じた健康づくり	D-1 食から広がる郷土愛育成に向けたメニュー開発	潮崎 純子	茨城県稲敷郡阿見町立 阿見小学校
	D-2 茨城県小中学校の朝食摂取・睡眠状況と不定愁訴・学習意欲との関連	猪瀬由美子	龍ヶ崎市立 龍ヶ崎小学校
	D-3 共食の形態別による中学生の生活の過ごし方と健康	舟橋 真紀	茨城県常陸太田市立 里美中学校
	D-4 精神障害者就労支援事業所における「ダイエットプログラム」の試み	杉山 久美	公益社団法人やどかりの里 エンジュ
	D-5 精神障がい者共同作業所における農作業による食育効果とメンタルヘルス向上への期待	清水由美子	虎の門病院 栄養部

	演題	代表発表者	所属
E とともに育ちあふ①	E-1 遊びの広場における育児相談の役割	関 美雪	埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科
	E-2 高齢者や障がい者のグループ活動を通して支え合う地域のつながりを作る	斉藤 絹枝	ひまわり介護会
	E-3 がんサロン事業による地域の行き（生き）場づくり	水馬 朋子	県立広島大学 保健福祉学部看護学科
	E-4 難病療養者とその家族を対象としたサロン活動 - 付属病院との協働による取り組み -	鶴見三代子	茨城県立医療大学
	E-5 浜砂会 今昔物語	松川 慶子	公益社団法人やどかりの里 浜砂会
F とともに育ちあふ②	F-1 看護大学生のボランティア活動を支える意義	吉岡 幸子	埼玉県立大学 保健福祉医療学部看護学科
	F-2 二大学学生協働サークル『楽農人』による就農体験および健康課題解決への支援活動 - 結成までの経緯と活動内容 -	長澤ゆかり	茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科
	F-3 おやじの会を川柳風に読み解く	天笠 明憲	公益社団法人やどかりの里 おやじの会
	F-4 やどかりの里メンバー交流会議 - 歩みとこれから -	加藤 康士	公益社団法人やどかりの里 すてあーず
	F-5 精神障害のある人の理解・促進のために私たちが果たしてきたこと	渡邊 昌浩	公益社団法人やどかりの里 やどかり情報館
G 専門職教育	G-1 健康教育の立案を含めた地域診断演習における学生の学び	叶多 博美	茨城キリスト教大学 看護学部
	G-2 保健指導技術演習の教育実践報告	若林千津子	茨城キリスト教大学 看護学部
	G-3 地域診断演習を実施した保健師学生の学び	綾部 明江	茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科
	G-4 地域で活動する理学療法士に必要な教育内容の検討	渡邊 勸	日本理学療法士協会（元）茨城県立医療大学保健医療学研究博士後期課程
	G-5 共に学び、育ちあふ - やどかりの里自主学習会「たたまの会」が大切にしてきたこととこれから -	伊藤 侑矢	公益社団法人やどかりの里 グループホーム

特別企画

○ しゃべり場 ～模擬「市民会議」を開きます！～

さいたま市では、2010年よりノーマライゼーション条例の策定にあたり、市民参加の「100人委員会」を開催、条例策定後も「市民会議」として話し合いの場が継続しています。この「市民会議」を学会の会場で再現、「こんな街にしていきたい」を参加者の皆さんと気軽におしゃべりできたらと考えています。

○ やどかりの里 紹介コーナー ～ようこそやどかりの里へ！～

このコーナーでは、1970年から活動を開始したやどかりの里が歩んできた道のりや、やどかりの里の今を紹介するとともに、未来へつなげたいことは何なのか、やどかりの里に関わる人たちのたくさんの声をお伝えします。是非ご覧ください。

○ やどかりの里 物販コーナー ～こだわりとセンスが光ります！～

障害がある人たちが作るさまざまな製品を販売します。自然栽培にこだわり、野菜本来の味を大切にする「やどかり農園」からは、美味しさをさらに凝縮した乾燥野菜「まめっこ」「うりっこ」「干し芋」、手づくりの小物雑貨中心の「すてあーず」からは、作り手のセンスが光る革製品が……。その他、やどかり出版の書籍、焼き菓子なども多数並びます。

FAX 048-680-1894

2016年10月31日(月)締め切り(必着)です

(締め切り後の申し込みは事務局までお問い合わせ下さい)

第20回日本健康福祉政策学会学術大会(埼玉)参加申込書

申込日 2016年 月 日

ふりがな					
氏名					
所属・部署					
職名					
連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先	住所	〒		
	<input type="checkbox"/> 自宅	電話番号	()	FAX	()
		E-mail			

記載例

参加費等	項目	記載例	
		(○)	()
① 大会参加費	会 員	4,000円	4,000円
	一 般 (行政職・専門職)	5,000円	5,000円
	学生・障害のある人・市民	1,000円	1,000円
② お弁当 (お茶付き)	11月12日(土) 幕の内弁当	1,000円	1,000円
	11月13日(日) 鳥めし弁当	1,000円	1,000円
③ エクスカーション (おみやげ付き)	11月11日(金) 13:30~17:00	2,000円	2,000円
④ 懇親会	11月12日(土) 17:30~	5,000円	5,000円
振込金額合計		13,000円	円

【振込先】※申込書送付後、2週間以内に以下の口座にお振込みください。

埼玉縣信用金庫 片柳支店 普通預金 1600385
 第20回日本健康福祉政策学会埼玉学術大会事務局
 ダイニジュッカイニホンケンコウフクシセイサクガツカイサイタマガクジュツタイカイジムキョク

【通信欄】

※参加者名と異なるお名前でお振込みいただく場合や請求書が必要な場合は、その内容を記載してください。
 その他連絡事項があれば記載してください。

【障害による必要な配慮】

手話・要約筆記・点字資料・車イス・その他 ()